

表－2.6 注目種（典型性：河川環境の連続性を指標）選定のための整理

				①生息量の 多さ	②幼稚仔へ の影響	選定さ れる注 目種	備考
目名	科名	種名					
魚類	ウナギ	ウナギ	ウナギ	—	—	—	—
	コイ	コイ	ウグイ	○	—	×	淡水域で生活史を完結できるので選定しない
	サケ	アユ	アユ	○	○	◎	流下仔魚への影響をとらえるための代表として選定する。
		シラウオ	シラウオ	—	—	—	—
	カサゴ	カジカ	小卵型カジカ	○	○	◎	遡上力の弱い種の代表として選定する。
			カマキリ				
	スズキ	シマイサキ	シマイサキ	—	—	—	—
		ハゼ	スミウキゴリ	—		—	—
			ウキゴリ	×		—	—
			ピリング	—		—	—
			ウロハゼ	—		—	—
			シマヨシノボリ	×		—	—
			オオヨシノボリ	×		—	—
			トウヨシノボリ	×		—	—
			ヌマチチブ	×		—	—
			チチブ	×		—	—
底生動物	エビ	テナガエビ	テナガエビ	×		—	—
		ヌマエビ	ミゾレヌマエビ	×		—	—
		イワガニ	モクズガニ	○	○	◎	個体数が多く調査が容易である。また、陸封されない。

注) 1. 回遊性の生物について、①生息量の多い種、②事業の実施が幼稚仔へ与える影響の大きい種 の順に注目種を選定した。

2. 魚類は「河川水辺の国勢調査 生物種目録」を基にして回遊性魚介類をリストアップした。